

設問2

(改めて、子どもさんが本事業に参加されるに当たって、思われることをお書きください。)

最後までやり抜く力を身に付けてほしい。人の言葉や対応が自分にどのように、これからの生活や成長に役立つか、少しでも気づいてくれたらと思います。

達成感、自信をつけて帰ってきてほしいと思います。

本人も楽しみにしていますが、どんなふうに頑張れるか、親自身本当に楽しみにしています。この体験を通して、しっかり自分ができるという自信をつけてほしいと思います。

今回は、ほとんど背中を押しての参加なので、少し不安もありますが、ひとかわむけて帰ってきてほしいです。自信がつくといいです。

人のこととなると一生懸命な子。自分のことをもっと見つめてほしい。新しい友達・自分を見つけて帰って。

ホームシック、親、周りの人たちの大切さ、色々経験してきてほしいです。

運動をしているので歩くのは大丈夫だと思うので、集中していろんなことができるようになってほしいと思います。

子どもが100kmを達成したときの充実感、自信にみちた顔を見たい。充実した体験をしてほしい。

いつも悪いところを注意するばかりの関係になりがちで、少し離れて我が子の良いところが見つめ直せたらいいなと思っています。

このおの100挑戦は、子どもではなくて親の挑戦だなと思った。

またひとまわり成長してくれることを信じています。

100km歩ききる中で、やり切る自身をつけられるといいと思った。これから生きる先で、ぶつかったとき、「自分はあの時やり切った」と思い出すことができると思う。

無事に帰ってくることを願っています。

自分で考えずに「どうしたらいい?」と聞いてくることが多いので、自分で考えて行動することが少しでも多くなればいいと思います。周りに気を遣って、自分の思いを伝えないことがあるので、周りの目を気にしすぎずに自分の考えや想いを相手に伝えることができるようになるチャンスになればいいと思っています。

団体行動や時間を考えて行動する習慣をしっかり身に付けてほしい。

自分自身の自信につながれば、自分の殻を新しく気付くことがあればと思います。

親のほう心配して気になっていましたが、見守ることをしようと思います。

自分で考え、時間の管理等を少し考えて帰ってもらえたら。とにかく元気に完歩して帰ってほしいです。

新しい友達ができ、いつもと違う世界を体験してほしいです。他人の気持ちに寄り添える気持ちをもってほしいです。

やりきってほしいと思います。

一生懸命頑張るとか、限界に挑戦するとかいう体験をしてもらいたいです。また、支えられてこのおの100で歩けるということを実感してほしいです。人の役に立つということは、どういうことか、少しでも考えてもらいたいです。

設問2

(改めて、子どもさんが本事業に参加されるに当たって、思われることをお書きください。)

本番5日間はもちろんですが、その前後も親子共に成長していけるよう、お互い親離れ、子離れを心掛けたいです。子どもの成長に負けないよう、私も待つ・見守るを特に成長させたい。

この段階では、心配は特にありません。自立するきっかけだけでも感じ取って帰ってきてくれればと思います。

本人の成長の一つになればと感じます。

親子の共通のテーマで話ができることに感謝しています。今年の100km挑戦は、将来に向けて大切な一歩であると信じています。

初めて会う友達とのコミュニケーションの取り方がどのようにしたらいいかが分かるようになるといいと思います。

周囲の見られる5日間であってほしいと思います。多くの人に支えられていることを感じ、感謝する心や、集団生活を通してゆずり合う心・許す心など、どうしても一人っ子で自分中心に考えている自分に、少しでも気づいて心を広くもてるようになってほしいなと思います。そして何よりも楽しかった名残惜しむ思いでゴールを切ってほしいと思います。

沢山のボランティアの方がおられるからこそ、安心して子どもを参加させられると思いました。(このことが少しでも子どもに伝わってほしいです。)家でもうまく距離をとり、自立へと向けていきたい。

いつもチャレンジする前に自分でラインを引いてチャレンジを諦めてしまう息子なので、自分に自信をもって、とにかく楽しんで、自分と向き合いながら、5日間を過ごしてほしいです。

挫折を味わってほしい。しっかり感動を味わってほしい。楽しんでほしい。

子どもには、体をフルに使った体験をさせたいと望んでいます。楽しい経験はもとより、本人が自律して生活するとき困らないように“こらえる力”“最後までやり抜く気力”を養ってほしいと思っています。

頑張って完歩してほしい。みんなと仲良く、楽しく。

精神的に強くなってほしい。

おの100で体験したことが、将来役に立つのではないかと考えています。頑張ってきたのだということが、自信につながると思います。

何か一つでも経験をしてほしい。

参加することで、日々の生活があたり前でないことに気付いてほしい。感謝の念も持てる子になってほしい。自分に自信のもてる人間になってほしい。

自分の甘えを克服してほしい。

ただ楽しいだけでなく、親が信じる。子を送りだしてから自分の接し方もみつめられたらと思います。

昨年参加し、本人もとても楽しみにしております。“自立”できるように、こちらも当日まで楽しんでサポートしたいと考えております。

自分で考え、自分から行動する、周りを見て行動するなど、普段からできることに気を付けながら、親として「過ぎない」ように8月1日まで心も身体も準備したいと思っています。

無事に有意義なものになればいいと思います。

やり遂げる喜びを知ってほしい。何か感じることもあるのかな。

設問2

(改めて、子どもさんが本事業に参加されるに当たって、思われることをお書きください。)

楽しみにしています。いろいろ感じてほしいです。

親離れより子離れ。自分で考える力をつけてほしい。

達成感やいろいろな思いを経験できると思います。心も体も成長できればいいと思います。

人とかかわりを大切にして、自分を出して行ってほしいと思います。たくさんの人に支えられているんだということに気付いてほしいです。

子どもの目的を達成できるように力を添えてやりたい。

大作のように何かを手に入れて帰ってきてほしいと思います。それが友達になるのか、思いやりになるのか、自分で考える力なのか、全てなのか少しなのか、楽しみにしています。

二度目の参加で、本人は全く不安を感じていません。だから、親は少々心配しています。過信・慢心はけがのもとだと思っています。自宅でも、謙虚な心で行動するように声かけをしてやろうと思っています。

おの100で自分本位な行動をしたり、甘えが出たりしそうでとても心配ですが、子どもの力を信じて待とうと思います。しんどい思いをして、ホームシックになってもらって、乗り越えて元気に完歩してほしいです。

様々な経験をするのは子どもの成長に大きくかかわることだと思います。今回の参加が子どもの人生に良き影響を与えてくれるよう願っています。

自分に頑張る力があること、人との交流で仲間や人とのつき合い、社会での自分の役割等、学んでほしいです。

何か自信をつけて帰ってきてほしいと思います。

成長の期待

今年は、参加する息子以上に保護者の私の方が楽しみで仕方ありません。ゴールする時、どんなに良い笑顔で、また、どれだけのガウガウ声で帰ってくるか楽しみです。

完歩も大切ですが、同じ班になった子と友達になれて協力して助け合えたらいいと思います。

子どもが行きたいと言うから参加させました。初めはそんなにすごい期待をもっての参加ではなかったですが、達成感や感謝の気持ち・自信をつけてもらえたらいいなと思います。親としても成長していきたいと思っています。

参加させて良かったと思っています。

感謝のできる、ありがとうと素直に思える子に。

「過期待」とならぬよう、子どもができたところ(100kmに参加したいと思ったこと自体がすごいことだな…とあらためて思いました。)をしっかりとほめてあげたい。

いろいろあるけど頑張ってるね。

我が家はかなり不自由に厳しい家だと思うので、きっとおの100の4泊5日は体はしんどいけど楽しい毎日だと思います。良い思い出をたくさん作ってもらえたらと思います。

達成感と自信を身に付けてもらいたい。5日間で経験したことで、もっと成長してほしい。

自分のことは自分でできるように。集団生活に慣れること。がまんができるように、あたりまえのことですが、一つでも成長して、帰って来てくれたら良いと思います。

設問2

(改めて、子どもさんが本事業に参加されるに当たって、思われることをお書きください。)

3年目になります。リーダーシップをとり、年下の子にも目が向き、思いやりをもって過ごせたらと思っています。

しっかりと、いろいろな体験をしてほしいと思います。

親がガミガミも言わないし、指示も与えられない状況で、何とかやっていかなければならない…という体験をしてほしい。自分に自信をつけてほしいな。

最後までやり遂げることの喜び・歩くことの辛さ・しんどさ、いろいろなことを体験してほしいです。

仲間と協力して、何かをやり遂げるすばらしさを感じてもらいたいです。

子が100km歩くだけでなく、さて、私も何が変わるか。

同じ志を持って目指す友達と一緒に、100km完歩し達成感、充実感を味わってほしいです。また、参加することになって、日常の中の気づきが少しでもあればうれしいです。